

市川の空気を調べる会

通信9号 2016年3月4日(金)



発行 市川の空気を調べる会 代表 鈴木一義

電話&FAX: 047-373-8369 E-mail: kazu38yoshi@eos.ocn.ne.jp

事務局 秋元久枝 電話&FAX: 047-373-1971

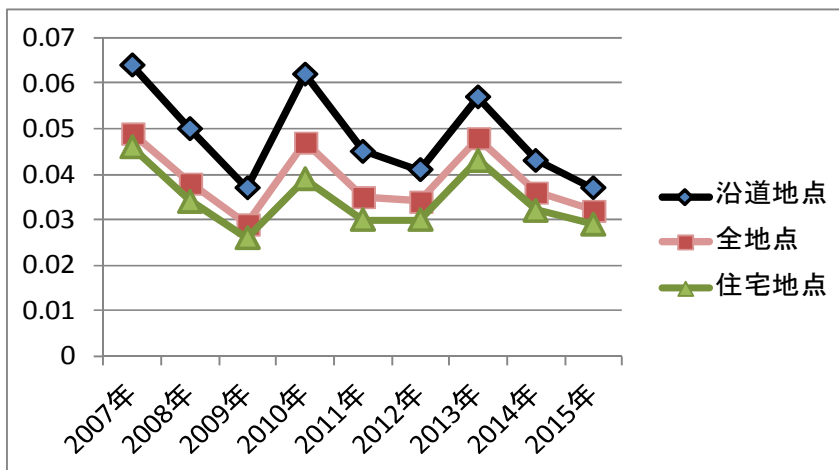
☆ 2015年12月度 NO₂測定結果の概要

定例測定時の直前まで雨模様でしたが、皆さまそれぞれ適時に取付けていただき、有効測定数は市川市内(隣接する松戸市矢切地区周辺、串崎新田、船橋市東中山を含む)396件(これまでの最高件数)、市外121件(「関さんの森」含む)でした。

市川市内測定結果

12月度の市内全域と住宅地、沿道地別の平均濃度とその推移を図1に示します。

図1 市川市内の12月度 NO₂ 平均濃度(ppm)の年度推移



今回の定例測定日は、市川市測定局各局の平均で見ると、周辺の日比べやや低目の日でした。私たちの測定値は図1の通りで、ここ数年では最も低濃度となりました。

それでは実際にこの時期の NO₂ 濃度はどう変化しているのでしょうか。

図2 市川市大気汚染測定局の12月度測定値に見る24年間の NO₂ 濃度(ppm)の変化

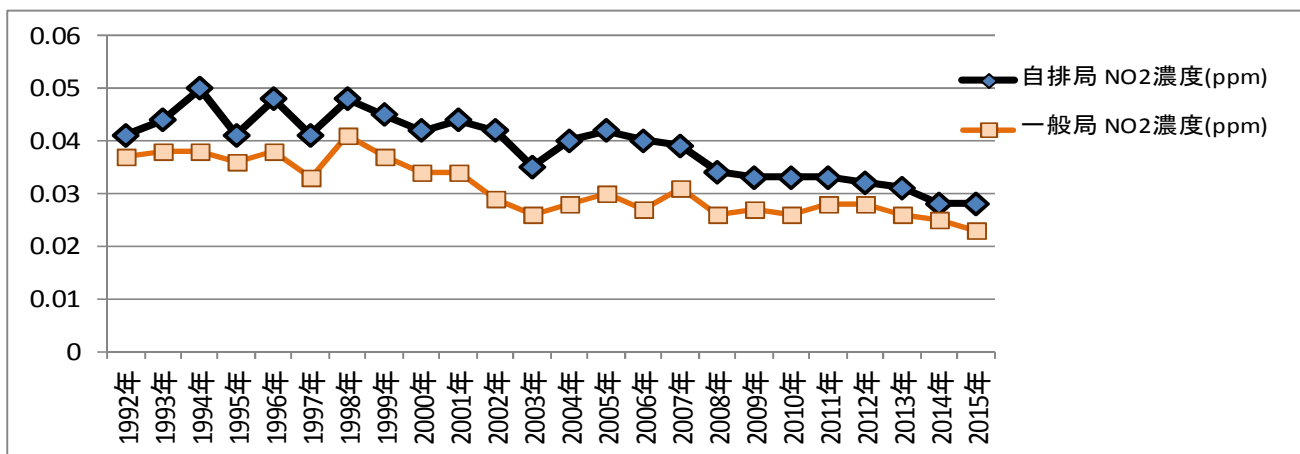
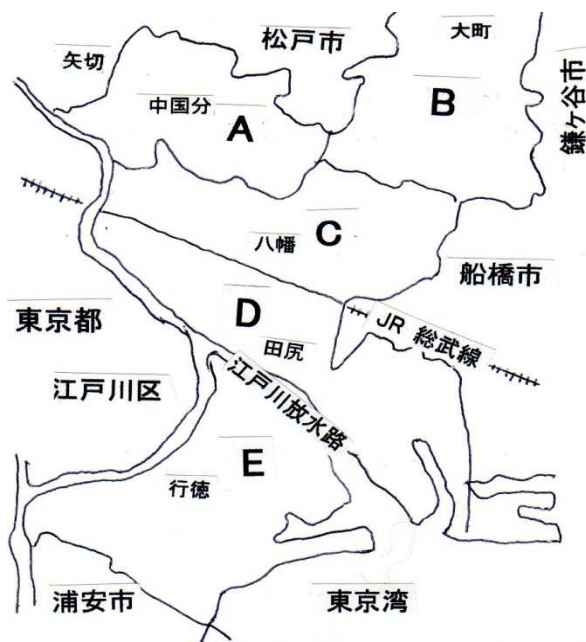


図2は当会が測定を始めた 1992 年からの、12 月度定例測定日の周辺 24 日間の、市川市測定局（一般局と自排局各 2 局の平均）における NO₂ 平均濃度の年度毎の変化を示すグラフです（市川市環境保全課提供データをもとに作成）。各点は 24 日間という長期間の平均濃度なので、その時期の NO₂ 濃度をほぼ正しく表していると考えられます。グラフが示すように、2000 年頃から住宅地（一般局）も沿道地（自排局）も、車の排気ガス規制の強化などにより NO₂ 濃度が低下し、今年度は住宅地 沿道地ともこれまでの最低レベルで、特にここ数年低下が鈍化していた住宅地で顕著な低下が見られました。

市川市地域別の NO₂ 濃度

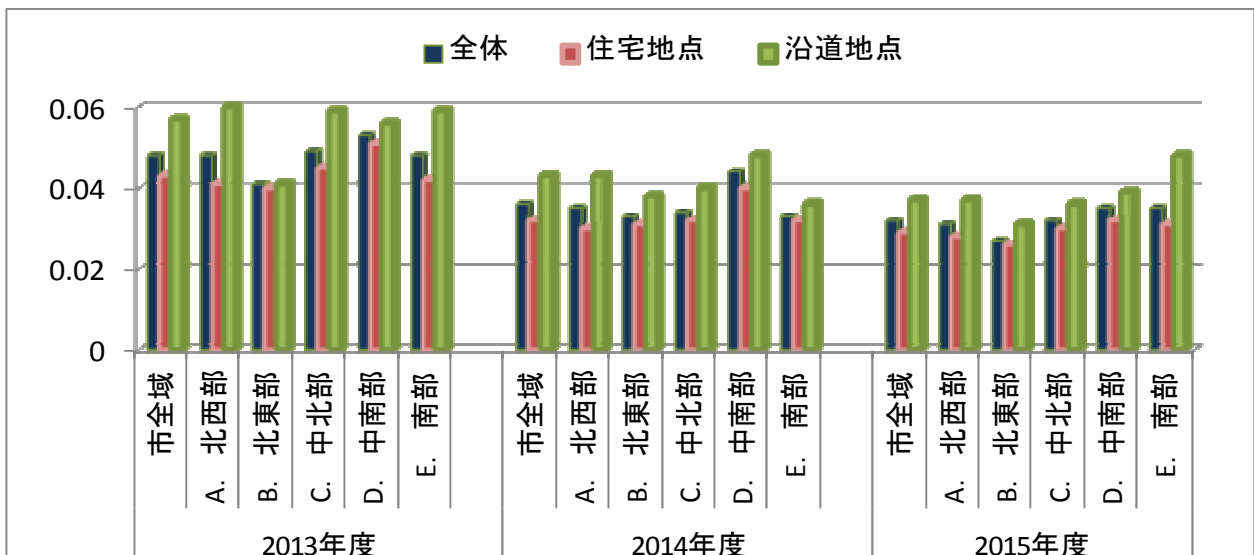
図3 市川市 区分図



市川市を図3のように地理的に5地域に分けて、各地域の12月度のNO₂濃度を見てみましょう。図4は各地域の平均濃度を棒グラフで示したもので、前2年度も参考として載せました。2015年12月度は市全域の平均値が低下していることを反映して、各地域の濃度も低下しました。**A北西部**（北国分、中国分、国府台、国分、曾谷等）は、外環道が接続する松戸街道により沿道部の濃度は高いですが、2車線なので住宅地は高くなっていません。**B北東部**（大町、大野、南大野、柏井等）は、大型道路の影響を受けず、住宅地、沿道地とも最も低濃度です。**C中北部**（JR線以北で真間、須和田、宮久保以南）は14号線と市川柏線が走り、走行車数が多いため住宅地は北西部より高めです。

D中南部（JR線以南、江戸川以北）は、松戸街道に接続する産業道路と京葉道路を走行する多量の大型車両により、住宅地は最も高濃度となっています。**E南部**（江戸川以南）は、大型車が最も多い湾岸道路の影響で沿道部が高くなっています。

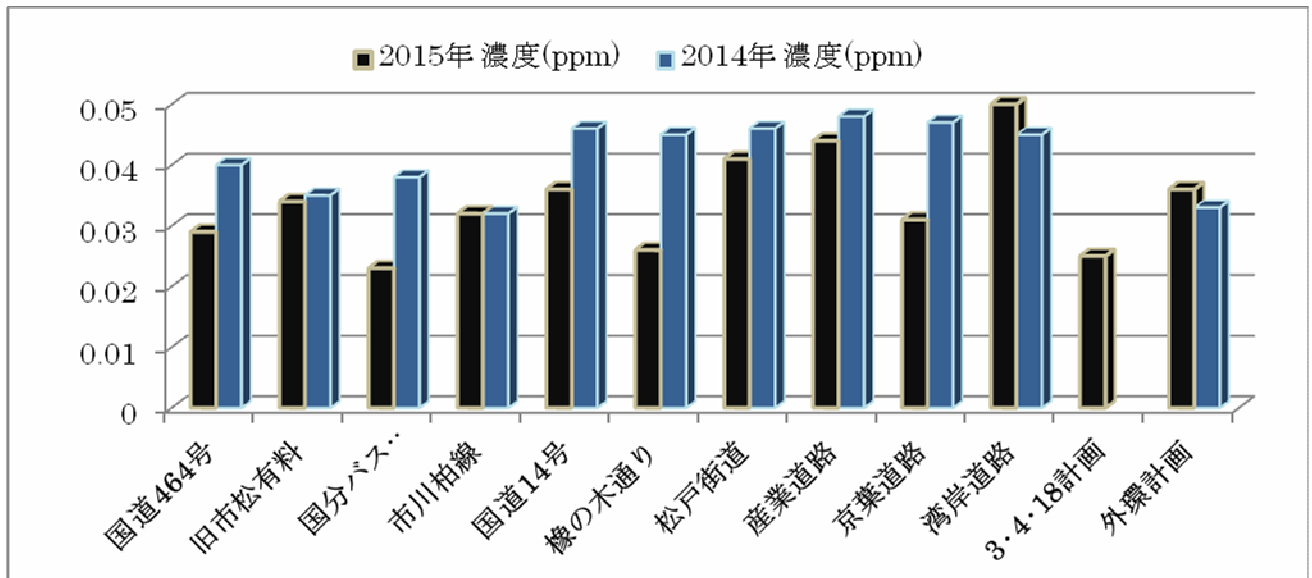
図4 2015年12月度市川市内地域別NO₂濃度(ppm) (2013年、2014年度も併記)



主要幹線道路沿道（測定数が6地点以上）の汚染度

NO₂平均濃度を図5に示します。測定数が15地点を超える国道14号、松戸街道、産業道路を比べると、外環道接続の影響で後の2道路は国道14号と同等か以上の汚染度を示し、京葉道や湾岸道という大型幹線道路と同等となっています。計画路線では、先の6月度測定と同様に外環計画線の汚染度が上がってきている一方、3.4.18計画線は低値を保っています。

図5 測定数が多い市内道路沿線部のNO₂平均濃度(ppm)(2014年度も併記)



☆ 会員からのお便り

○ 石居 隆行 さん（北国分）

昨年5月から、鈴木さん、高柳さんとともにNO₂月間計カプセルによる外環計画線沿いの測定を始め、私は北部地域6ポイントを担当しています。既に中矢切付近では、開通した298号線により値が高くなっています。この地点は、標高が高く風の流れもあるので、排ガスの影響も緩和されると考えていましたので、今後とも要注目地点です。この事から、現在未開通の北国分・小塚山付近や道免きは、高低差で淀む様な場所では、汚染の高い状況が予想されます。そうすると、現在は無理ですが、高低差を含めたより多くの設置場所を確保したいところです。ヤオコー中国分店下付近も既に高めになっているようで、付近には将来の北千葉JCT計画があり重要な測定点と考えています。

私も小塚山の自宅から車で仕事に出かけ、かつてはのんびりゆっくり走ったものです。しかし現在、通勤時間帯は以前と比べられないくらい運転手はスピードを出しています。堀の内・博物館下の側道では、怖くて歩行者は歩けないのではと思います。軽自動車の私もミニバンの主婦に煽られる状況です。のどかだった北国分も住みづらい街になりつつあります。

○ 蓮尾純子さん（行徳野鳥観察舎）

早いもので、年2回の調査に参加させていただくようになってから、20年はとうに超えているでしょう。行徳地区は参加者があまりいないので、ひところは船橋との市境の二俣川まで湾岸道路を自転車で走り、24地点を担当していたこともありましたが、まさに「継続は力なり」を地で行く活動と思いますが、残念なのは

「楽しいよ。面白いからいっしょにやりませんか」というお誘いをなかなかかけられなかったこと。あとは、「だからどうなの、どうすればいいの」という疑問に対しての自分なりの答えも見つけられていないこと。

目下、長年の拠点である行徳野鳥観察舎が耐震診断の結果を受けて、無期限休館中です。できるだけ早期の再開と存続を求めて、署名運動そのほかの活動展開中。みなさまどうぞよろしく。

○ 関さんの森の空気は交差点並みに！ 武笠紀子さん（関さんの森を育む会）

関さんの森に道路が開通（2012年9月）して3年余り経ちました。交通量は一日に14000台と言われ、朝晩の渋滞は毎日です。「市川の空気を調べる会」のご協力をいただき、道路開通前からNO₂の測定を始め、大気汚染の進んでいることが分かってきました。

道路が通る前の2009年と、2015年の同じ12月の数値を比べてみました。驚くべき変化は関さんの屋敷内の数値です。2009年は測定地点中一番低くて0.021だったものが、0.040になり、幸谷交差点（0.043←0.039）並みになりました。当時は2倍もあった国道6号の北部市場交差点（0.049←0.043）との差も小さくなりました。

松戸市は、道路沿いの小金水道局脇で測定していて、NO₂の環境基準値（0.04～0.06、又はそれ以下）を越えることはないので大気汚染の問題はないと言います。しかし、森の大気は確実に汚れてきていますので、継続して測定を続け監視したいと思います。今後もよろしく願いいたします。（数字の単位は ppm）

☆ 総会・講演会のお知らせ

総会と市民公開の報告会・講演会を下記の通り開きます。どうぞご参加ください。

日時と場所：3月26日(土)13時より 市川公民館（JR市川駅北口徒歩5分）第3会議室

◇ 2016年度総会 13時～13時30分

講演会に先立って開きます。会員、賛助会員の皆さまのご参加をお願いします。

◇ 報告と講演会 13時40分～15時20分 参加費：無料

○ 2015年度市川市内NO₂測定結果報告

昨年6月と12月のNO₂測定結果を報告します。測定報告書を差上げます。

○ NO₂測定用簡易月間計の性能と使用実績

簡易月間計の使い方、使用実績等を報告します。雑誌掲載論文を差上げます。

☆ あとがき

昨年12月度の測定結果概要をお伝えしました。なお、この時のカプセル毎の測定値は、当会のホームページ（市川の空気を調べる会）でご覧いただけます。

今号から会員からのお便りが載ります。ご協力をお願いいたします。外環も関さんの森も、道路開通による大気汚染増加は明らかです。外環道について当局が出した新たな環境影響評価では、大気汚染の増加は0に近い値です。本当でしょうか。野鳥と人が交流するかけがえのない行徳野鳥観察舎の存続に署名等で協力しましょう。

最後にいつものお願いですが、2015年度会費がまだの方はよろしく願いいたします。

（以上）